

令和7年度 裏磐梯小学校学校運営プラン

めざす教師像

- ・使命感を持ち、学び続ける教師
- ・児童に寄り添い、自己実現を支える教師
- ・健康で明るく、人間性豊かな教師
- ・児童、保護者、地域から信頼される教師

教育目標

心豊かなたくましい子の育成

めざす学校像

一人一人がかがやく学校

めざす児童像

すすんで学習する子（知）

思いやりのある子（徳）

自ら健康になる子（体）

R7スローガン「笑顔」「一生懸命」「自分から」

学力の向上に努めます

1. 地域を生かした体験活動を積極的に行います。（本校の強み）
 - ・社会科、理科、総合的な学習の時間・生活科、学校行事等において、見学や観察、実際の体験など、体験活動を積極的に行い、子どもの探究意欲や思考力、活用力を育成します。
 - ・外部講師による出前授業や見学学習等、物的・人的資源を十分活用し、本物に触れ、本物から学ぶ機会を意図的に設定します。
2. 少人数のよさを生かした個別最適な学びと、子どもの思いや考えを大切にした協働的な学びを推進します。
 - ・各教科において、子どもの考えに寄り添い、子どもの思考の流れを大切に指導することで、自他のよさを味わえる授業を展開します。
 - ・「必要感のある課題」「協働的に学ぶ場（友達と、そして地域と）」を単元や授業に効果的に位置づけ、子どもの思考力・判断力・表現力を育成します。
 - ・各教科における知識や技能の確実な習得と、自ら学び、ともに高め合う子どもの育成のため、教職員研修を通して教師の授業力を高めます。
 - ・習熟や振り返りの場の設定により、学習内容の定着を確認すると共に、自己肯定感の醸成を図ります。
 - ・読み聞かせや読書タイムなど読書の機会を意図的に設定し、文章読解力、思考力、想像力の育成を図ります。
 - ・朝の学習（裏小タイム）を週2回実施し、基礎的な学習内容の定着を図ります。

よさを認め合い、豊かな心を育みます

1. 道徳科の指導の充実を図ります。
 - ・道徳科の時間では、一人一人の気づきや考えを大切にし、話し合い活動を通して自己の生き方を考える授業を実践します。
 - ・家庭と連携して子どもの道徳性を養うことができるよう、授業参観で道徳科の授業を積極的に公開します。
 - ・道徳科において「よりよい学校生活、集団生活の充実」「希望と勇気、努力と強い意志」「善悪の判断、自律、自由と責任」の内容項目を重点的に取り扱い、目指す児童像の具現化を図ります。
2. 全教育活動を通じて、子どもの主体性や協働性を育てます。
 - ・異学年交流（縦割り活動）を効果的に位置づけ、リーダーシップや互いのよさを認める力の育成を図ります。
 - ・特別活動では、子どもが「自分で（自分たちで）決める」という活動を重視し、主体的に企画したり運営したりする力を発達段階に応じて育成します。
 - ・各教科、総合的な学習では、【課題設定→解決・探究→相互交流（高め合い）→まとめ→振り返り】を基本に、問題解決力の育成を図ります。
3. 地域から学ぶ学習の充実を図ります。
 - ・地域の自然、文化、人材などを生かした単元構成により、地域のよさを知り、地域に感謝し、地域を愛する心の育成に努めます。

安全・健康教育の充実を図ります

1. 学校生活において運動する機会を設定し、運動量を確保します。
 - ・体育の時間では、運動身体づくりプログラムを必ず行います。また、主運動を行う時間を十分確保します。
 - ・毎週金曜日の朝の時間に全校生で運動する時間（運動タイム）を設定し、体を動かす楽しさを味わい、運動に親しむ子どもを育てます。
 - ・桧原湖一周ジョギングカード、なわとびカードを活用し、子どもが目標を持ち、自主的に運動に取り組む意欲を高めます。
2. 危機回避能力を身に付けます。
 - ・具体的な場面を想定した防災・防犯訓練（地震、噴火、不審者を想定）を実施します。
 - ・インターネット、SNS等の利用状況を把握し、予期せぬトラブルに巻き込まれないよう具体的指導を行います。（特に長期休業前）
3. 健康教育・食育の充実を図ります。
 - ・養護教諭や学校栄養職員とのTT、外部講師の招聘により、保健教育、食育の充実を図ります。
 - ・家庭と連携しながら、ヘルシートライ、メディアコントロールに取り組み、基本的な生活習慣の定着を図ります。
 - ・毎月19日の「食育の日」講話や自分手帳の活用により、健康な食習慣を目指します。

児童を育む3つの視点

「個を知る」「個を伸ばす」「個をつなぐ」

開かれた学校づくり

1. 地域への積極的な情報発信

- ・ホームページの更新と内容の充実
- ・各種おたよりの質的充実
- ・授業参観の効果的な運営
- ・PDCAサイクルによる学校評価

2. 地域との情報共有と協働

- ・学校評議員会の充実
- ・各種団体会議等での情報共有

地域や幼小中の連携

1. 地区長寿会との計画的な交流

- ・昔遊び・団子さし・ざる菊植え・クラブ活動支援

2. 図書ボランティアによる読み聞かせや図書室環境の整備

3. 地域の物的・人的資源の積極的な活用

4. 幼小中の連携推進

- ・裏磐梯幼小中学校教育研究会・授業研究会への相互参加
- ・幼小中クリーンアップ活動
- ・幼小の各種交流

5. 公民館・「学校の応援団」等との連携事業

- ・裏磐梯運動会・裏磐梯文化祭・子どもの主張大会
- ・沖縄交流

家庭との連携

1. 家庭学習の手引きの活用

2. 学校保健委員会によるヘルシートライの実践と評価

3. メディアコントロールの計画的な実施と習慣化

北塩原村の教育

- 基本目標「北塩原村の明日を担う人づくり」
- ・生涯学習を通じた協働の村づくりの推進
 - ・幼小中の一貫した教育を目指す連携の推進
 - ・知・徳・体のバランスの取れた子どもの育成
 - ・心豊かで規範意識のある青少年の育成
 - ・芸術、文化の振興
 - ・若者の育成支援
 - ・歴史資源の保存・継承
 - ・「心身ともに健康なくらし」をめざしたスポーツの振興